

# DIGITANA SLS SHIP

# SHIMANO

取扱説明書

小船 1000XT / 2000XT

真鯛 *Special* 1000XT / 2000XT

このたびは、シマノデジタナSLSシリーズをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

船釣りではシカケをいかに正確に棚までおろすか、すなわち棚取りの精度が釣果の決め手となります。

そこで、デジタナSLSシリーズでは、シマノ独自のSLS（シマノ・ラインプログラム・システム）を搭載。

さらに、上から棚を取る釣りと、底から棚を取る釣りに必要な水深を一目で表示する新カウンターに加え、操作性の良い

底取りクラッチを採用するなど、より正確な棚取りを可能にしました。

また、SHIP（スムーズ&ハイパワーシステム）を採用し、スムーズな回転、強力な巻き上げを実現しています。

小船・真鯛スペシャルの機能をフルに引き出し、未永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存してくださるようお願い申し上げます。

# ■ 特長

1 SHIP(スムーズ&ハイパワーシステム)を採用し、スムーズな回転、強力な巻き上げを実現。

2 操作性の良い新クラッチシステム「底取りクラッチ」を採用。

竿を握ったまま親指一本で素早いクラッチのON、OFFができます。さらにクラッチレバー横にサムレストを設置。魚とのやりとりや、サミング操作が楽に行えます。

3 底取りと快適な巻き上げに威力を発揮するスーパーストッパー。

4 「上からモード」「底からモード」切り替えで棚の水深が一目でわかる新カウンター。

船釣りの棚の取り方は釣場、釣り方、対象魚などにより、上(水面)からの水深で棚を取る方法と、いったんシカケを底に着け、底から何mか巻き上げて棚を取る方法の2種類があります。上から釣る時は水面からの棚の水深、底から釣る時は底からの水深といったように、場合に応じて重要な水深を一目で表示します。

5 SLS(シマノ・ラインプログラム・システム)を搭載。すばやく、正確に棚を狙えます。

シカケの落下速度が速く、スリップから生じる誤差がないローラーレスのSLSシステム。実測値をプログラマでインプットしますので、だれでも簡単に操作できます。

6 リールをホールドする左サイドプレートからボルトをなくしたフラッシュサーフェスデザイン。

7 シマノデジタナシリーズだけの簡単操作。

- 正確な水深を表示させるための0セットシステム。
- アラームで竿を上げればシカケが手元にくる船ベリアラーム。
- 高切れをしても安心な、ワンタッチ高切れプログラム補正システム。
- 精密な棚取りができる0.1m単位のデジタル表示。(100m以上は1m単位)
- ドラグのスベリが音でわかる、ドラグアラーム。
- クリック付の新しいスタードラグは、スムーズで強力な締付力を実現。(小船)
- 真鯛釣りに威力を発揮する真鯛ドラグ。(真鯛スペシャル)
- ファインセラミックガイドリング採用のDDL(ダイレクトドライブレベルワインド)。
- ラインのからみにくい新設計レベルワインド。
- レベルワインドで指をはさむのを防止する、セーフティレベルワインドカバー。

# デジタルカウンターの各部の名称

メインカウンターのカウントが上からモード（上から）と底からモード（底から）のどちらであるかを表示します。

## ■メインカウンター

上からモードの時は水面からの水深、底からモードの時は底からのシカケの棚を表示します。

## ■学習OK表示

リールに巻いた糸のデータが設定された時に点灯します。

## ■底メモカウンター

電池の交換時期になると点灯します。

0セット時に点灯します。

## ■ON・OFFボタン（7ページ参照）



でON



でOFFにします。

## ■上底切替・0セットボタン

（11、12、13ページ参照）



押すごとに底からモード・上からモードが交互に切り替わります。



より正確な水深表示のためにシカケを水面に合わせてカウンターを0.0にする0セットとして使用します。高切れしたときのデータの修正にも使用します。

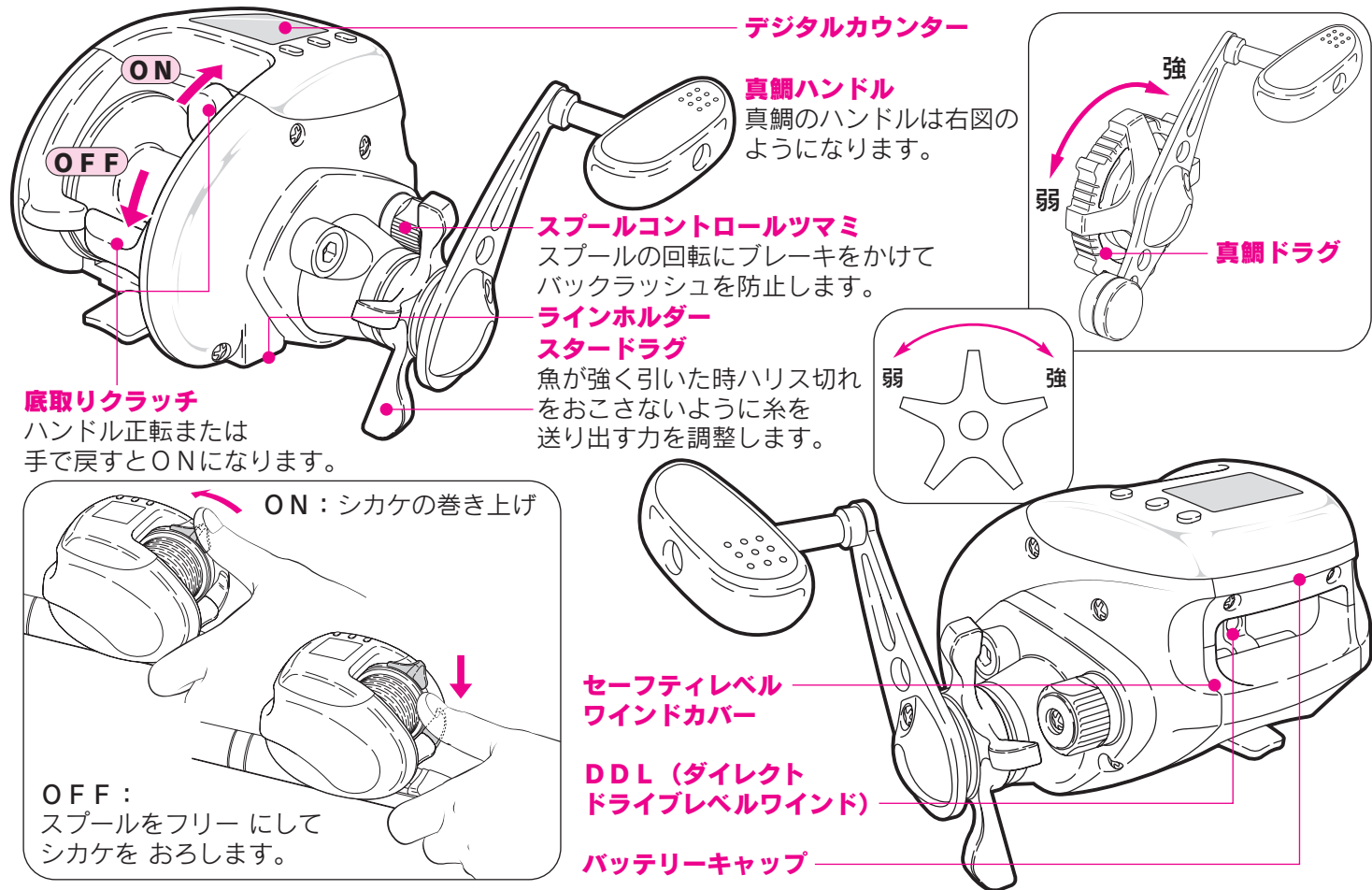
## ■底メモボタン

（14、15ページ参照）



押した時のメインカウンターの水深を底メモカウンターに表示します。**底からモードの場合は…**これと同時にメインカウンターが0.0となり、リールを巻くとカウントアップする底からのカウンターになります。

# ■各部の名称



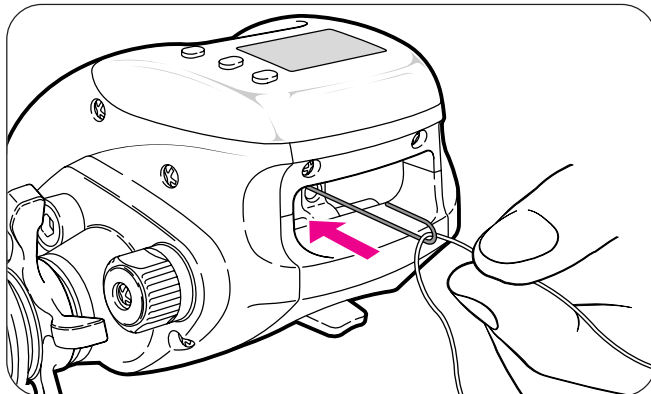
## ■ 学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)

最初に糸を巻くときや糸を巻きかえるときは、下記の操作を必ず行なってください。

このリールは、スプール回転と糸巻量の関係をマイコンに記憶させるしくみになっています。

操作は、必ず以下の順番に従って行なってください。

### 1 糸をセットします。



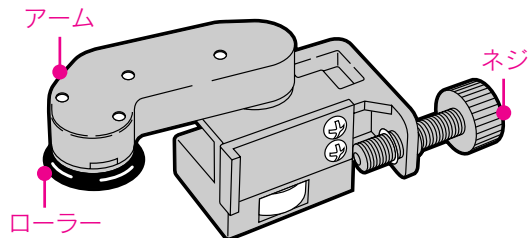
**1** 付属の糸通しピンで、図のように糸をレベルワインドに通します。

**2** 糸をスピールのピンに結んでください。

**3** 4～5回ハンドルを正転させ、スピールに糸がすべらずに巻けることを確認してください。

# ■ 学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)

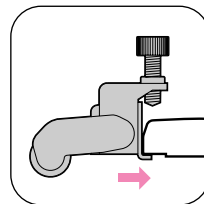
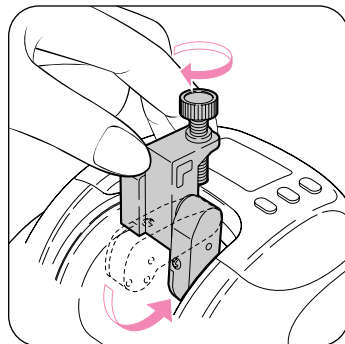
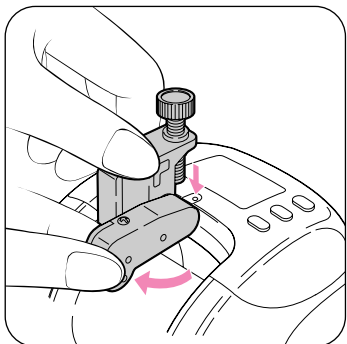
2 プログラムを取り付けます。(付属のプログラマP-9をご使用下さい。他のNO.のものは使えません。)



プログラマP-9の各部名称

1 まず、プログラマのネジをゆるめます。  
そしてアームが内側に入り込まないように、  
指でアームを起こしながらセットします。

2 図のように表示部の横にピッタリくっつけてセットし、  
ネジを締めてください。



### 3 糸巻量を記憶させます。

デュラPE（新素材糸）5号を200m（1000XT）：6号を200m（2000XT）巻いたデータはすでにインプット済みです。プログラマなしに設定できます。方法は9ページをごらんください。

#### 1 電源ONを確認してください。

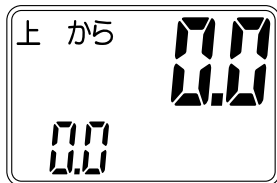
液晶表示が点灯していると、電源ONの状態です。  
点灯していない場合は、ON・OFFボタンを押して電源をONにしてください。

##### 電源をONする方法

ON・OFFボタンを押してください。

##### 電源をOFFする方法

30分以上リールを動かさなければ、自動的にOFFになります。  
ご自分でOFFにされる場合は、ON・OFFボタンを3秒以上押し続けてください。



#### 2 糸を巻いてください。

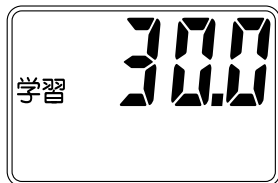
実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。  
(約750~1000gのテンションを目安にしてください。)

#### 3 糸を巻き始めると、デジタル表示が図のようになります。



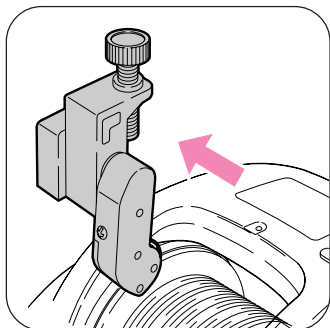
# 学習方法（使用するラインの実測値をリールに記憶させます。）

- 4** 巻き取り長さが30.0mに達しますと、学習完了可能ですが、ひきつき必要な糸巻量になるまで糸を巻いてください。



30.0m未満では学習完了しませんのでご注意ください。

- 5** 糸を完全に巻き終えたらネジをゆるめて、プログラマをはずしてください。



※プログラマは糸巻学習時のみ使用します。実釣時には、不要です。

- 6** ON・OFF、上底切替・Oセット、底メモボタンのいずれかを、押してください。

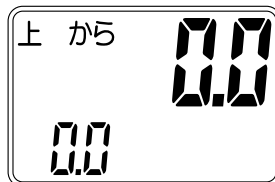


（例：200m巻いた場合）

2回断続音が鳴り、巻かれた糸の量と「OK」の表示が出ます。  
※通常船用の道糸は100m単位です。例えばポビン2巻で200m巻いたつもりでも、表示が203mというような数字になることがあります。これは糸の長さが長いために生じるものです。



- 7** これで学習は完了です。



学習が終わると、カウンターが「0.0」になります。  
（糸をプログラムする時と実釣時とのテンションの差、及び糸の伸びなどにより、カウンターの値と実際に糸が出た長さの間に±3%の誤差が生じることがあります。）



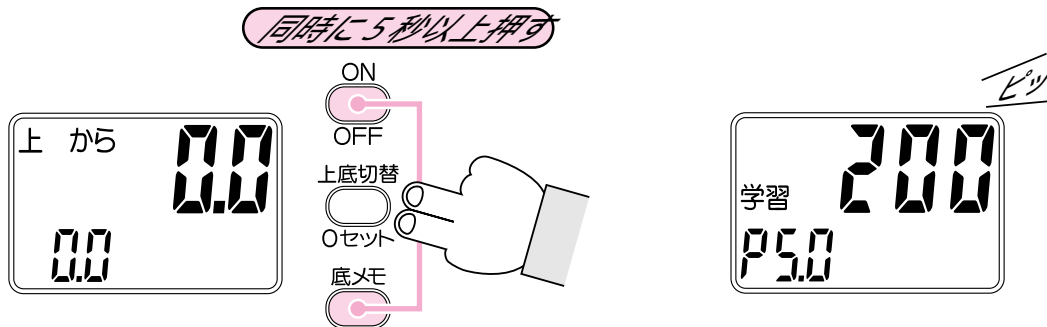
## ■ 学習方法（インプットずみのラインデータを呼び出します。）

### 4 プログラムを使用せず、あらかじめ入力されたラインデータを呼び出します。

このリールにはデュラPE（新素材）5号を200m（1000XT）：6号を200m（2000XT）巻いたデータがインプットされています。この糸を巻かれる場合は次のような操作をしてください。（もちろんプログラムを使用してインプットしてもかまいません。）

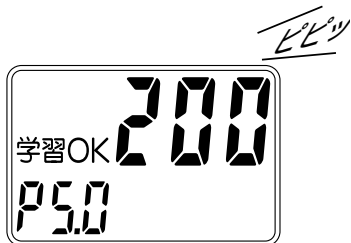
ご注意：他社PEラインを使用される場合カウンターの誤差が3%を超えて生じる場合があります。

- 1 まず、指定糸を実際に釣りをするときと同じぐらいのテンションで巻き終わります。
- 2 電源をONにしてON・OFFボタンと底メモボタンを同時に5秒押します。
- 3 下のように表示され、ピツとアラームがなります。

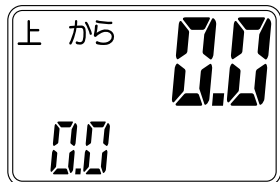


4 ボタンを押してください。どのボタンでもOKです。

下のように表示され、ピピッとアラームがなります。  
その後表示がもとにもどります。



5 これで学習は完了です。



# ■ 0 (ゼロ) セットの設定 (釣りを始める前に必ず行ってください。)

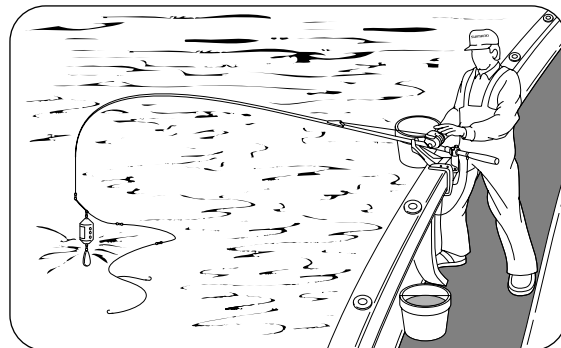
## 5 正確な棚取りを実現するために。

釣果アップには正確な棚取りが不可欠です。

そこで「0セット」を設定します。

「0セット」とは、シカケが水面にある時を0mとして設定します。

「0セット」によって、シカケの位置が水深を示すようになり、正確な棚取りを可能にします。



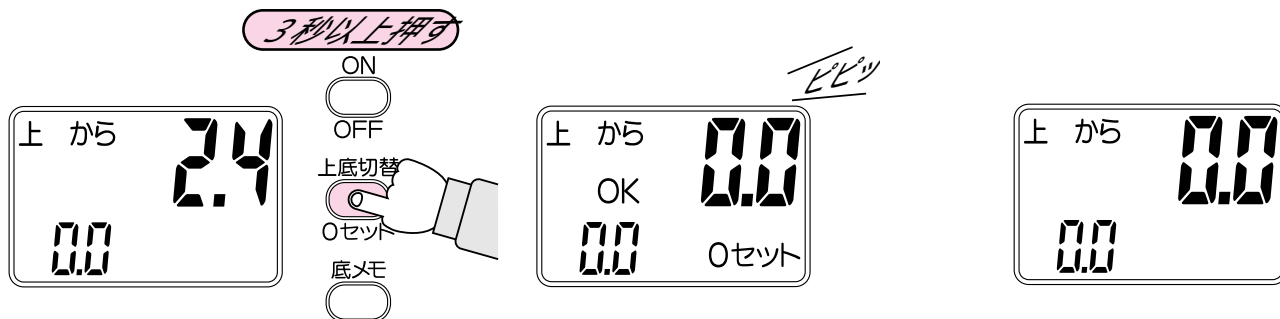
シカケが水面にある時を0mとして設定します。

- 1** シカケを水面に合わせ、  
上底切替・0セットボタンを3秒  
以上押して下さい。

※いったん底から表示が変わりますが3秒  
以上押し続けると上からに戻ります。

- 2** 下図のように表示が変わります。  
アラームが鳴り、OK表示が  
点灯します。

- 3** これで0セットは完了です。



## ■ 0 (ゼロ) セットについて

### 6 0セットを設定した後に。

0セットされた状態で糸を巻くと、マイナス表示されますが、これは0セットされた位置を基準として糸が巻き込まれていることを表しています。次に糸を出すと、マイナス表示からプラス表示へと変化します。

注意：

新品の糸を使用した場合、何回目かの釣行まで糸が伸びる場合があります。水面にシカケを持ってきても「現在の水深」が「0.0」にならない場合は再度0セットをやり直して下さい。

### 7 高切れした場合。

高切れした場合も同様の操作です。高切れしたところまで糸を巻き上げ、シカケをセットして、再度5の**1**、**2**の順で0セットを行なってください。これで、コンピュータが自動的に高切れした位置からの実測値表示にプログラムを変更します。

## ■ 2通りの棚の取り方・上からモードと底からモード

### 8 棚取りに便利な「上からモード」と「底からモード」。

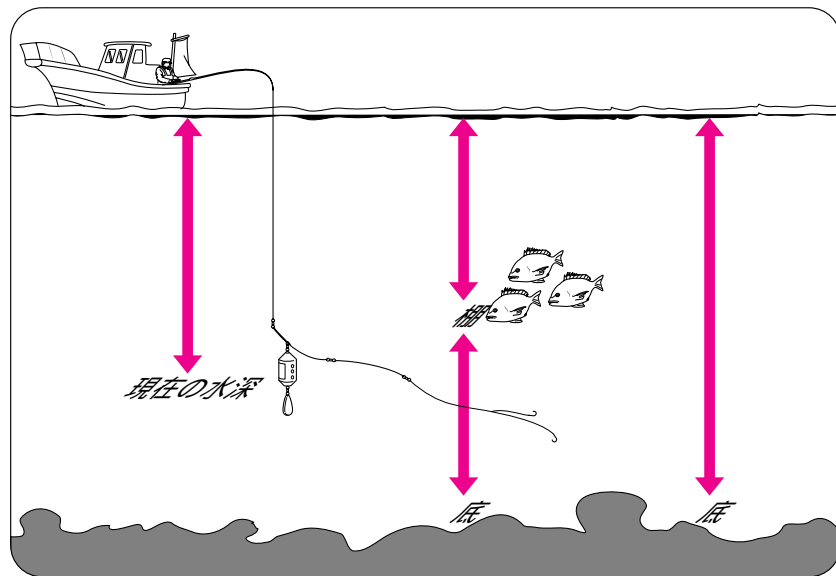
船釣りで釣果を上げるコツは、いかに正確に魚のいる水深（すなわち棚）にシカケを降ろすかということです。

最近では高性能の魚群探知機により、魚のいる水深が正確にわかります。通常、船長がこの棚を教えてくださいます。

この場合釣場、釣り方、対象魚などによって水面

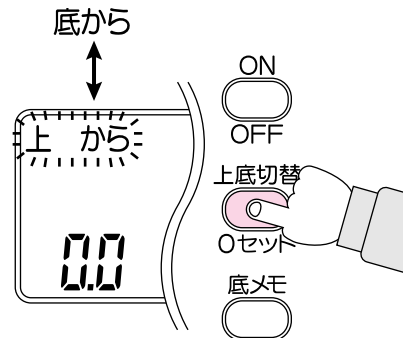
から棚が指示される場合と、海底すなわち底から棚が指示される場合の二通りがあります。

NEWデジタナSLS小船/真鯛スペシャル1000XT、2000XTは、上から棚をとるのに便利な「上からモード」と、底から棚をとるのに便利な「底からモード」の2つのモードを備えています。その日の釣りに合わせて切り替えてご使用ください。



#### モードの切り替え方法

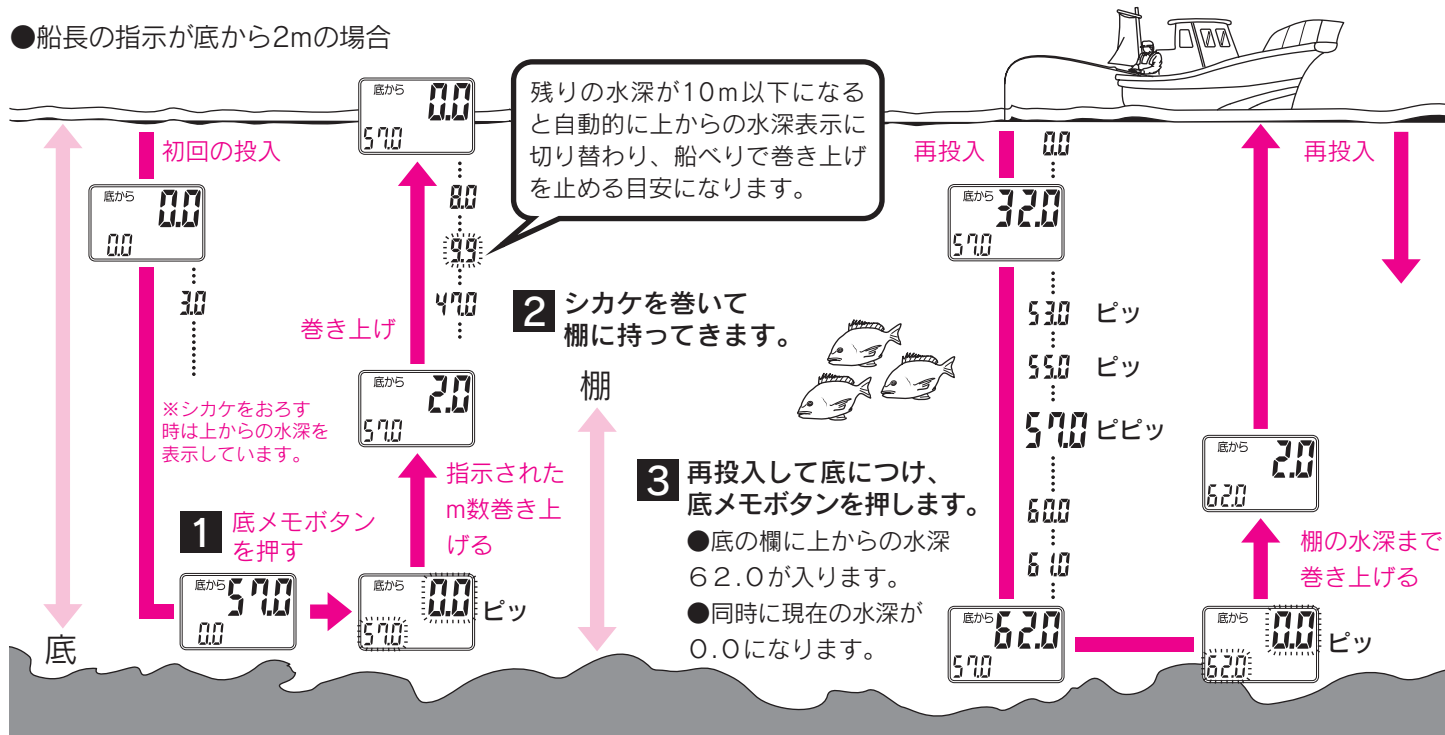
上底切替ボタンを押してください。「上からモード」と「底からモード」が押すたび交互に切り替わります。





# ■底からモードの実釣編

## ●船長の指示が底から2mの場合



### 1 シカケをいったん底につけ、底メモボタンを押します。

- 底の欄に上からの水深が入ります。
  - 同時にメインカウンターの水深が0.0になります。
- リールを巻き上げるとプラスにカウントし、底からの水深を表すようになります。

### 解説！

船長の指示が「底から何m」といった場合、釣りはシカケをいったん底まで降ろして指示されたm数だけシカケを上げます。(コマセ釣りの場合は通常この時にコマセを振ります。)

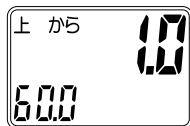
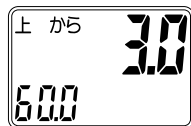
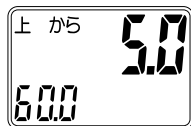
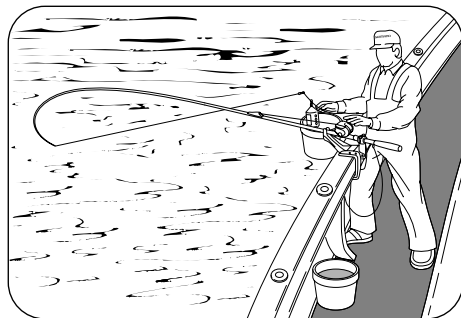
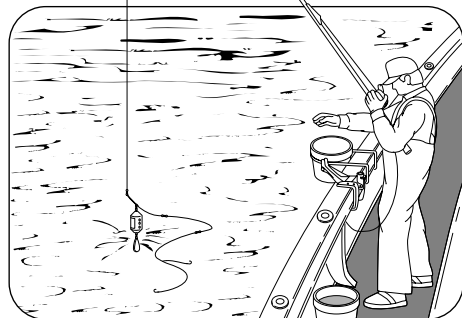
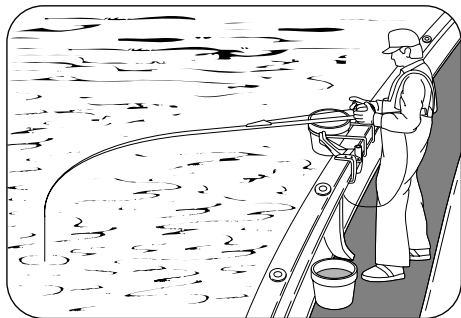
底の状態の変化に魚が平行して付いている釣場では、シカケの投入のたびにシカケを底に着けてから棚を取り直します。

# 船ベリアラーム

## 9 船ベリアラームが自動的にセットされます。

巻き上げを終えて竿を上げた時、シカケまたはコマセカゴが正確に手元に来れば、コマセの詰め替え、エサ付けがスムーズに行なえ、手返しを早くすることができます。

そこでこのリールでは、シカケが手元にある状態を毎回コンピュータが自動的に記憶します。ですから、船ベリの「ピピッ」アラームが鳴った時に竿を立てると、シカケが正確に手元にとどきます。



ピッ

ピッ

ピピッ

1 アラームは、記憶した船ベリ停止位置よりも4 m手前から、3回鳴ります。

2 「ピッ、ピッ、ピピッ」と3回目の「ピピッ」で、

3 巻き上げを停止して、竿を立てるとシカケが手元に来ます。

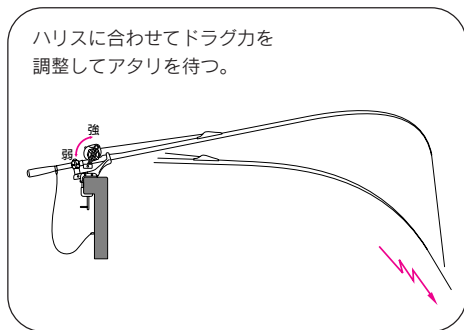


# ■真鯛ドラッグの操作方法

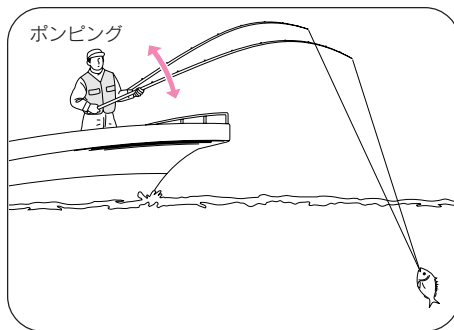
## 10 常に、攻めの釣りが可能です。

細いハリスを使用する真鯛釣りの場合、ドラッグも弱めに設定します。スタードラッグですと、魚の引きに対してドラッグを滑らせて糸を出した後、巻き上げようと思ってもドラッグが滑って巻けない時があります。巻き上げ時にドラッグを少し締めて魚の引きに対して、再度ドラッグをゆるめる操作が必要でした。真鯛ドラッグの場合、そのような操作は不要です。真鯛の強烈な引きに対しては、あらかじめ調整して

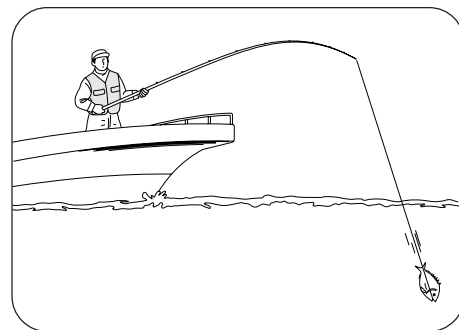
おいたドラッグ設定でスムーズに糸が出ていきます。この時、ハンドルが逆転しますので手は軽くそえておいて下さい。引きが止まれば今度はこちらの攻撃です。ハンドルを巻けば、ドラッグの調整に関係なく直結で巻き上げることができます。魚とのやり取りが、ハンドルを握ったままで可能です。しかも巻きたい時に巻き上げることができますので、常に攻めの釣りが可能なのです。



- 1** アタリ  
強烈なアタリにも真鯛ドラッグで糸の出はスムーズ。



- 2** 攻めの巻き上げ  
ドラッグ調整がいらす、竿をポンピングしてそのままハンドルを巻くだけでOK。  
※真鯛ドラッグはそのスムーズ性ゆえ、竿を振ってコマセを出す際に糸が出る場合があります。そのような時には指でスプールを押さえるようにしてください。



- 3** 不意をつかれた急な引き込みにも…  
巻き力をゆるめれば元のドラッグ力に戻り、急な引き込みもスムーズにいらします。  
※ハンドルが逆転しますので手は軽くそえておくのがコツです。

# 電池の交換方法

## 1 バッテリーアラームについて

**B** マークが点灯しましたら電池の交換時期です。市販のCR2032ボタン電池をお求めの上（電器店もしくは釣具店で）交換してください。なお、**B** マーク点灯後も釣行3～4回は使用可能です。“Err”の表示が出れば電池寿命です。

## 2 電池の交換方法

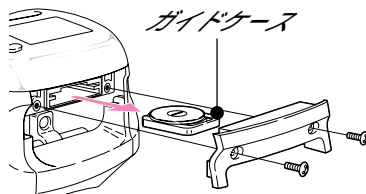
電池交換はあらかじめCR2032のボタン電池を購入の上、必ず電源をOFFにしてから行って下さい。

また、3分以内に作業を終了するようにしていただくと同時に、交換中はカウンターのボタンを押さないでください。入力されていたデータが消えることがあります。

1. バッテリーキャップの固定ネジ2本をゆるめ、取り外します。

2. 古い電池をガイドケースごと取り出します。

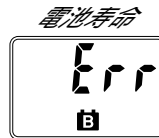
3. ガイドケースに新しい電池を入れます。  
(-が上面になるように)



4. バッテリーキャップを取り付け、固定ネジ2本をしっかりと締めつけます。

(パッキンを使用した防水構造になっていますので、パッキンに注意すると同時に、確実に取り付けてください。)

5. 電源を“ON”し、正しく電池が交換されているか、学習データが保存されているかを確認します。



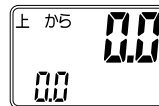
※図は上からモード時の表示です。  
(底からモードの場合もあります)。  
※メーカー出荷時にリールに組み込まれているものはテスト用電池です。

※正しく交換されている場合、下図のように表示されますが、正しく交換されていない場合は、下図以外の表示が出たり全く表示されなかったりしますので、電池の仕様、+-、接触等を確認してください。  
※図は上からモード時の表示です。(底からモードの場合もあります。)

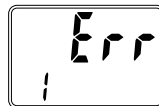
保存されていないと図の下段のように表示が変化します。保存されていない場合は、再度学習を行ってください。

(6～10ページ参照)

データが保存されている場合



データが保存されていない場合



### 交換時のご注意

- 電池交換は必ず電源をOFFにしてから行ってください。
- 電池交換中はカウンターのボタンを押さないでください。
- 屋内の湿度の低い場所で行ってください。
- バッテリーキャップを長時間開けたままにしないでください。
- 電池の+-をまちがえないようにしてください。
- リールに内蔵の電池はテスト用ですので寿命の短いことがあります。

# ■お取り扱い上の注意

デジタナSLSは、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。  
また、釣行後の手入れを十分行ない、未永くご使用ください。

## 1 ご使用上の注意

- 根掛かりしたときには、竿やリールで無理にあおらないで、ハサミなどで糸を切るようにしてください。
- デジタナSLSはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意下さい。
- リールは落したり、衝撃を与えないよう、ていねいに扱ってください。

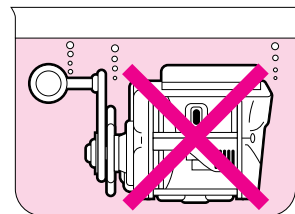
## 2 お手入れの方法

- 各部分に付着したゴミ、砂などは、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させて下さい。特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないで下さい。
- リールは分解しないでください。特にライトサイドプレートは絶対に分解しないでください。
- ドラッグ部分には絶対オイルを付けしないでください。オイルが入るとドラッグ力が低下することがあります。ドラッグ部分には水が入らないようにしてください。
- プログラマのアーム先端のゴムローラには、絶対にオイルを付けしないでください。正確な糸巻学習ができなくなります。

- バッテリーキャップは電池交換時以外には開閉しないでください。
- リール収納時に各スイッチボタンが押されたままの状態になりますと電池消耗を生じますので、収納時には各スイッチボタンに接触しないようにご注意ください。

- 高温、高湿の状態です長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、左記の手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

リール本体、特にカウンターユニット部は水をかけたり、水に浸したりしないでください。  
(カウンターユニットは日常生活防水仕様ですがトラブルを防止するため、水に浸したり、過度に水を掛けたりしないでください。)



## 3 仕様

品番	製品コード	ギヤ比	最大ドラグ力 (kg)	自重 (g)	糸巻量(号-m) 新素材デュラPE糸使用	最大巻上速度 (cm/ハンドル1回転)	スプール寸法 (径mm/幅mm)	ボール ベアリング
デジタナSLS 小船1000XT	RF371000	4.6:1	6	445	4-250 5-200 6-150	64	45/36	5
デジタナSLS 小船2000XT	RF372000	4.6:1	6	440	4-300 5-250 6-200	64	45/36	5
デジタナSLS 真鯛スペシャル1000XT	RF401000	4.6:1	2	485	4-250 5-200 6-150	64	45/36	5
デジタナSLS 真鯛スペシャル2000XT	RF402000	4.6:1	2	480	4-300 5-250 6-200	64	45/36	5

- 標準付属品：布袋、プログラマ（P-9）、取扱説明書、分解図、糸通しピン
- 糸巻量の太字は初期の指定糸です。

# ■プログラマー一覧

## 4 プログラマー一覧

適合プログラマ	商品名	NO.
P-01	デジタナSLS小船タナピタ	2000/3000
	デジタナSLS真鯛スペシャルタナピタ	2000/3000
	デジタナSLS電動丸TM	2000/3000/3000H/3000EV
	電動丸	2000H/3000XT/4000XT
P-2	デジタナSLS船	4000/5000/6000
	デジタナSLSレバードラグ	5000/6000
	デジタナSLSレバードラグ2スピード	5000/6000
P-3	デジタナSLS電動丸TM	4000/4000H
P-4	デジタナSLS小船	2000/3000
	デジタナSLS真鯛スペシャル	2000/3000
	デジタナSLSレバードラグ	2000/3000
P-5	デジタナSLSティアグラ	50W/50WL.R.S.
P-6	電動丸	6000XT/6000H
P-7	デジタナSLSカルカッタ	3000
P-8	デジタナSLS小船	1000/2000
	デジタナSLS真鯛スペシャル	1000/2000
P-9	電動丸	3000XH/3000H
	デジタナSLS小船	1000XT/2000XT/3000XT
	デジタナSLS真鯛スペシャル	1000XT/2000XT/3000XT
	デジタナSLSレバードラグ	4000XT
	デジタナSLSレバードラグ2スピード	4000XT

# ■製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

リールのメカニズムの説明には、書面で表しにくいことがあります。お手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様のお電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

- 修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。

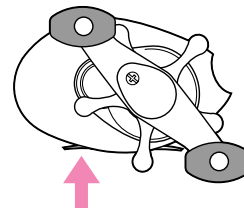
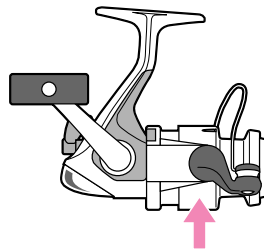
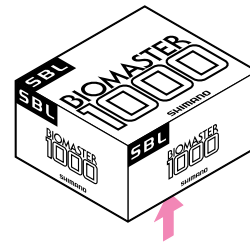
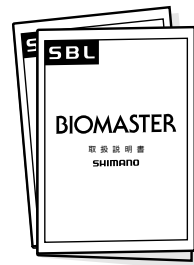
その際には必ず修理箇所、不具合内容を具体的に（例／ストッパーが働かない）お知らせください。

また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所、本社サービス課へお問い合わせください。

- ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧ください、商品名・製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、ご注文ください。

内部の部品に関しては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。



例／商品名 : バイオマスター1000  
製品コード : SC371000  
部品番号 : 2  
部品名 : スプール





〈製品コードの位置〉

取扱説明書・分解図・パッケージ底面部・製品（コードの上5ケタを表示しています）

# ■故障かな？と思われたときは

こんなとき	操 作	参照
液晶が真っ黒、及び全文字が現れる。	高温度の雰囲気（車のトランクの中等）にさらされた時に生じる場合がありますが、温度が下がるにしたがって正常にもどります。	
液晶が点灯しない。	ON/OFF ボタンを押して下さい。他のボタンでは点灯しません。 電池切れ、＋のまちがいなどを確認してください。	7、18
学習状態にならない。	プログラマを正確に取り付けて下さい。 ローラがスプールにきちんと当たっているか確認して下さい。 ON/OFF ボタンを一度押してから再度確認下さい。	6～7
学習OKにならない。	巻き取り長さが必要最小値を満たしていないことが考えられます。 お手数ですが再度学習の上、学習巻き取り長さが30.0m以上かどうか確認して下さい。	8
ラインを送り出してもカウントしない。	お手数ですが再度学習の上確認下さい。	6～10
誤差が大きい。	お手数ですが再度学習の上確認下さい。 糸が伸びてマーカーが不正確になっているときがあります。	6～10
液晶表示がうすい。	室温にて確認下さい。低温（-5℃以下）にて使用の場合電池の能力低下で表示がうすくなることがあります。 そうでない場合は電池の寿命と考えられます。 バッテリーマーク  を確認の上、電池を交換してください。	18
ブザーの音に合わせて液晶がチカチカする。	電池の消耗によるものです。 バッテリーマーク  を確認の上、電池を交換してください。 その他の機能については問題ありません。	18

●表示が下図のようになるときは…



こんなとき	操 作	参照
	<p>電池の消耗によるものです。 学習データ保護のため、すみやかに電池を交換してください。</p>	18
	<p>電池交換時に学習データが保存されていなかった場合の表示です。 お手数ですが、再度学習をおこなってください。</p>	6~10 18







# 安全上のご注意／サービスネット

## 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ハンドルとボティの間に手をはさまれないように注意してください。けがの原因となります。</li> </ul>

 <b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●糸が勢いよく出ている時は、糸をつかまないでください。糸で指を切る原因になる恐れがあります。</li> <li>●逆転防止付リールでストッパーをOFFにして釣っているとハンドルが逆転し、手に当たりけがの原因になる恐れがあります。</li> <li>●レベルワインド付リールでは、糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれて、けがの原因になる恐れがあります。</li> <li>●リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないよう注意してください。</li> <li>●リールを釣り以外の目的で使用しないでください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●回転している時、回転部分に触れないでください。けがの原因になる恐れがあります。</li> <li>●スプールと糸の間に指をはさまないように注意してください。指を切る原因になる恐れがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●糸が勢いよく出ている時は、スプールの上に指を置かないように注意してください。ヤケドや指をはさんでけがの原因になる恐れがあります。</li> <li>●ドラッグ装置を長時間連続使用すると、ドラッグ収納部が熱くなる恐れがあります。</li> </ul>

## 株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 仙台営業所  
〒984 仙台市若林区中倉2-21-5(原田ビル1号) TEL. (022) 232-4775

株式会社シマノ 大宮営業所  
〒331 埼玉県大宮市三橋2-684-1 TEL. (048) 622-3815

株式会社シマノ 東京営業所  
〒143 東京都大田区大森南1-17-17 TEL. (03) 3744-5656

株式会社シマノ 千葉営業所  
〒284 千葉県四街道市美しが丘1-30-11 TEL. (043) 433-1780

株式会社シマノ 静岡営業所  
〒410 静岡県沼津市錦町674 TEL. (0559) 62-3983

株式会社シマノ 名古屋営業所  
〒454 名古屋市中川区元頭橋2-6-21 TEL. (052) 331-8666

株式会社シマノ 大阪営業所  
〒660 兵庫県尼崎市元浜4-85 TEL. (06) 418-4541

株式会社シマノ 岡山営業所  
〒700 岡山市青江930-12 TEL. (086) 264-6100

株式会社シマノ 広島営業所  
〒734 広島県広島市南区翠1-11-6 TEL. (082) 255-8143

株式会社シマノ 四国営業所  
〒768 香川県観音寺市流岡町1496-1 TEL. (0875) 23-2220

株式会社シマノ 九州営業所  
〒841 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6 TEL. (0942) 83-1515

北海道釣具サービスセンター  
〒065 札幌市東区北十条東1丁目 TEL. (011) 752-6622

### 株式会社シマノ釣具事業部

本 社：〒590-77 大阪府堺市老松町3丁77番地

●商品の性能、スペックに関するお問い合わせ TEL. (0722) 23-3739

●広告、カタログ、イベントに関するお問い合わせ TEL. (0722) 23-3466

釣具サービス課：〒592 大阪府堺市築港新町1-5-15

●商品の修理、パーツなどアフターサービスに関するお問い合わせ

TEL. (0722) 43-2851 / FAX. (0722) 43-2860

**SHIMANO**